

善福寺川整備工事（その205-2）工事説明会

主なご質問、ご意見と回答

1. 開催概要

日 時 : 令和5年3月25日（土） 午前10時00分～午後3時00分

場 所 : 善福寺川整備工事（その205）作業所内

来場者 : 18名

2. 説明会のアンケートで頂きましたご意見

- オープンハウス形式の説明会は、聞き手側の都合で質問ができるため、わかりやすかった。
- オープンハウス形式の説明会にて個別に対応頂けて不安になっていたことが少し解消されました。
- 工事現場の見学会もやってほしい。
- 丁寧な説明でわかりやすかった。
- 工事は何をしているか分からなかったのが理解できた。
- パネルの文字は、もう少し大きい方が良い。
- 工期が短くなることを希望します。（小さな振動が長期にわたるのがいいか、大きな振動でも普通の生活が早く戻ってくるのがいいのか）
- 住民間の不平等を無くして欲しい。工事の期日を守り責任をもって欲しい。「説明と同意」が必要。

皆様からのアンケートでは今回のオープンハウス形式での説明会は約8割の方から「良い」との評価を頂くことができました。今回は、10時から15時の時間で開催させていただいたことから「自分の都合に合わせて聞けたのが良かった」とのご意見も頂きました。

説明会場の状況



3. 工事についてのご質問やご意見に関する都の回答

工期について

Q 1 さらに工期が延びることはあるのか。

A 1 冠水等によっては、延伸する可能性はありますが、工夫して極力延びないように努力してまいります。

施工について

Q 2 善福寺川整備工事（その205-2）の土砂等の搬出において通学に影響が無いか心配である。交通誘導員をつけてもらえるのか。

A 2 交通誘導員については適切に配置します。また、通学時間帯の搬出入については通行する方の安全を確保できるよう今後調整させていただきます。

Q 3 善福寺川整備工事（その205-2）で実施する範囲の護岸は、今回の整備で完了するのか。

A 3 今回は既設護岸の撤去であり、準備工の位置づけです。善福寺川整備工事（その205）の完了後、当該箇所の護岸整備に着手する予定です。

Q 4 善福寺川整備工事（その205）の「工事工程遅延理由」となった、想定外の地中障害とは何か。

A 4 今撤去している旧護岸より以前の護岸の基礎と思われます。

Q 5 神通橋の現う回路はどうなるのか。

A 5 新たな神通橋の開通後、撤去いたします。

Q 6 善福寺川整備工事（その205）の「工事工程遅延理由」の『④降雨による作業スペースの冠水』は、河川水が作業スペース内に流入しないよう鋼矢板を伸ばすことはできないのか。

A 6 河川工事は、川の水が流れているところに仮設物を設置し作業スペースを確保して工事を進めています。その際に、工事前の善福寺川の洪水の流れる量を阻害しないよう、設置する仮設物の高さを決めています。設置した仮設物の高さ以上に善福寺川の水位が上昇した場合、川から洪水が溢れないように作業スペース内が冠水することを許容しております。これまでの河川工事も同様の考えに基づき実施してきております。

本工事箇所は、善福寺川の中でも降雨により水位が上がりやすい特徴がある区間でありこれまで第三建設事務所で行ってきた河川工事の中でも作業スペースへの冠水頻度が非常に多く、工事の遅延にも影響している状況です。

工事によりご不便・ご迷惑をおかけしているところ、工事期間の延長によりさらにご不便・ご迷惑をおかけし大変申し訳ありません。ご理解・ご協力を何卒お願いいたします。

今後の整備について

Q 7 現在の工事は神通橋と西田端橋の中間で折り返しになった。上流側で工事を待っていたのに、一番最後になってしまった。

A 7 住民の皆様のご意見を参考に、中間で折り返す判断をいたしました。長らくお待たせすることになりまして申し訳ございません。

Q 8 神通橋上流から西田端橋下流の護岸工事を、西田端橋上流から棧橋を設置しながら行うとのことだが、川へ近づける土地があるのか。どこから川へ進入する予定なのか。

A 8 西田端橋上流左岸の広場を作業ヤードとして一部使用できないか調整をしているところ
です。

Q 9 西田端橋上流左岸の土地が借りられた場合は、ここ（205工事作業ヤード）のようになってしまうのか。広場にあるベンチ等は使えなくなるのか。

A 9 広場の一部分、ベンチ等がない箇所をお借りできないか、現在調整しています。

Q 1 0 広場の一部分だけで重機や資材を置くことができるのか。

A 1 0 狭いスペースでの作業となりますが、工夫して施工していきたいと考えています。

Q 1 1 西田端橋下流の区間は、西田端橋から施工できないのか。もっと早くできないのか。

A 1 1 西田端橋はバス通りになっているため、通行止めができず迂回路を設置する必要があります。迂回路を設置できるスペースは西田端橋上流（北側）にしかないため、上流側からの施工が必要となります。

Q 1 2 大谷戸橋から西田端橋までの仮栈橋設置にどれくらいの期間がかかる予定なのか。また、西田端橋が架かるのはいつ頃か。

A 1 2 大谷戸橋から西田端橋については、作業ヤードの整備や鋼管杭の設置、仮栈橋の設置を行う予定で、概ね2年から3年かかります。

その後、下流側へ仮栈橋を設置しながら、神通橋と西田端橋の間地点まで進み、中間地点に達したら、仮栈橋を撤去しながら護岸の構築や管理用通路の整備を行っていきます。新しい西田端橋の架設は、それ以降になる見込みです。

Q 1 3 西田端橋の迂回路について、建物を壊すなど影響はないのか。

A 1 3 右岸側は駐車場や道路を一部借用して、左岸側は建物を避けて迂回路を設置する予定です。

Q 1 4 現在205工事で作業ヤードとしている場所は、元々公園だった。いつ開放されるのか。西田端橋上下流の工事でも、使用するのか。

A 1 4 西田端橋上下流の工事で使用する予定はありません。ただし、今回施工する205-2工事の後に、同箇所では栈橋を撤去しながら護岸と管理用通路等を整備する工事を予定しており、その工事とあわせて公園をもとの形に戻して、公園として使えるようにする予定です。

Q 1 5 その工事はいつからいつまでか。

A 1 5 205工事及び205-2工事完了後、概ね3～4年程度かかる見込みです。

Q 1 6 西田端橋上流側の工事の際、大谷戸橋も架け替えるのか。大谷戸橋は通行止めになるのか。

A 1 6 今回お示しした西田端橋上下流の工事では、大谷戸橋を通行止めにしたり、新しく橋を架け替えたりする予定はありません。ただし、西田端橋上下流の工事が完了した後、更に上流へ向かって工事を進める際に、大谷戸橋を架け替えます。

河川整備の考え方について

Q 1 7 洪水対策を否定するわけではないが、従来の計画を見直すために一旦立ち止まって検討をするべきではないか。河川断面を広げるだけが対策ではないと考える。行政は旧来の計画に固執し過ぎている。

A 1 7 現在、時間 50 ミリまでの降雨に対しては、河道整備で対策することを計画しております。また、流域対策と調節池の整備を合わせて 75 ミリの降雨に対応できるように整備を進めています。しかし、平成 17 年 9 月のような 100 ミリを超える降雨には対応できないため、ソフト対策として洪水時に避難行動に移していただくように浸水予想区域図や水害ハザードマップを公表しています。工事にあたっては周辺環境に配慮しその時点で最適な対策工法を採用してまいります。

Q 1 8 善福寺川調節池を紹介する Youtube 動画に「善福寺川上流域の浸水被害を早期に軽減するため調節池をつくった」とあった。調節池ができれば河川整備はもういらぬものと考えていた。

A 1 8 善福寺川調節池は、下流区間の治水安全度を早期に向上させるとともに、上流区間の河道拡幅及び河床掘削を進めるために整備しています。善福寺川調節池上流にある現状の河川断面は、時間 30 ミリ降雨に対する断面であり、これを時間 50 ミリ降雨に対する断面に広げるため河川整備を進めております。調節池ができれば河川整備はいらぬということではないことご理解ください。

Q 1 9 調節池上流の河川整備を進めると、現状よりも多くの洪水流量を調節池で受け入れることになり、河川流量を減らす調節池の効果が損なわれるのではないか。

A 1 9 調節池が最適に機能を発揮できるよう、河川整備の状況に合わせて調節池取水堰の堰高を調整して最大限の効果発現をしていきます。

善福寺川調節池について

Q 2 0 この辺に水をためる池があると聞いたが、それはもう完成しているのか。

A 2 0 善福寺川調節池という調節池をなかよし広場の下に作っており、既に完成しています。

Q 2 1 善福寺川調節池の堰の高さは自動で上げ下げできるのか。

A 2 1 堰の高さ調整は予め行っておくため、洪水の際に自動で上げ下げはできません。現在の河川の流量に見合った堰の高さを設定しており、河川の整備が進み、堰の高さを変更する場合は、最適な流入量となるよう調整していきます。

河川監視カメラについて

Q 2 2 河川沿いにカメラが付いているが防犯のためか。

A 2 2 神通橋と西田端橋の中間の右岸側に設置しているカメラは河川水位を監視するものです。河川監視カメラの映像としてYoutubeでも公開しており、「水防チャンネル」で検索していただくと見ることができます。

景観について

Q 2 3 川沿いの桜の剪定が雑であった。桜の健全な成育のために丁寧に剪定して欲しい。

A 2 3 頂いたご意見を参考に今後工事で剪定する際は、樹木の生育に留意して参ります。

Q 2 4 西田端橋上流左岸の土地には桜の木が多くある。ヒコバエを育てたりしているのに伐採するのか。

A 2 4 近隣に住む方や広場利用者の方が桜を大切にしていることは承知しています。そのため、桜を切らずに作業ヤードを整備し、川へアクセスできないか検討しております。ただし、枝葉が繁茂して、重機の通行に支障となるものは剪定を予定しております。

Q 2 5 完成しつつある護岸を見ると従前より傾斜がきつくなっており、景観にそぐわない。

A 2 5 洪水時に流せる河川流量を増やすため、護岸の傾斜を立てることで河川断面を増やす必要があります。周囲の景観に調和するよう護岸材料には自然石材を用いたブロックを用いております。

家屋調査について

Q 2 6 以前に家屋調査をしていただいた。その調査から数年経過しているが、今後調査する予定はあるか。

A 2 6 家屋事後調査として205工事が完了した後に、調査する予定です。工事完了時に家屋調査の意向確認をさせていただき、同意を頂けましたら、工事完了から半年後を目安に調査させていただきます。

Q 2 7 以前の家屋調査のデータは持っているのか。それとの比較を行うのか。

A 2 7 調査資料は東京都で保管しています。前回調査させていただいた際の写真等と比較し、工事によって影響があった場合は金銭により賠償させていただきます。

Q 2 8 家屋も経年で劣化していく。工事が長期にわたった場合、工事による影響なのか経年による影響なのかわからず、補償してもらえなくなることはないのか。工事の途中で家屋調査をすることはできないのか。

A 2 8 工事の途中で調査を行うことは可能です。壁にひびが入ってきた、扉が閉まりづらい等ご不安がありましたら、ご相談ください。

Q 2 9 うちが西田端橋下流の工事でも影響範囲に入ると思われるが、205工事後に事後調査を行い、西田端橋下流工事で事前の調査をしてもらえるのか。

A 2 9 西田端橋下流の工事は、お宅付近まで到達するのに数年かかるため、一度、205工事後の事後調査で影響があった場合は賠償させていただきます。
また、次期工事については改めて事前調査をさせていただきます。

4. そのほかに頂きましたご意見について

河川沿いに住んでいるもので、毎日工事の実施状況を見ており、今回の説明を聞きどのようなことをやっているかよく理解できた。工事をしていただいていることに感謝しており、そのことを伝えたかった。